

(正面) 明治天皇駐蹕處

(側面) 從二位勳二等股野琢書

御小休所として御使用ありし建物は現在若狹野村八洞に現存す。右建物は當時警察分署として新築せられ、早々御小休所たる光榮に浴せるものにして、分署としての使用止みたる後は、相生那波矢野若狹野四村組合立の小學校々舎となり、更に後年少時空屋となりしが、後現在の地に移建せられ、爾來村役場として使用今日に到れるものなり。現位置は舊位置と隔たる事西方二十町にして同じく山陽街道に沿ふて南側に位置し、道路上の位置は略舊狀に近きを見る。建物は間口六間、奥行四間の總二階建木造洋館にして、正面中央に間口二間の玄關あり。元是に露臺を附しありしも今は失はれてなく、此の部分のみが外觀上舊觀と相違せる點なりとす。内部階下はやゝ改造ありてもと六室に分れたりしを、今は廣間となし執務室として使用せらる。階上は三十二疊の大廣間と東側に九疊と六疊の二室に分れありし舊狀を略其の儘遺存し、大廣間を物品置場、東側小室を八疊に狹め宿直室とし、北側は四疊の物置を設け、間を板間となせり。御小休の際の御部屋割は階上

大廣間を以て御座所に用ひさせ給ひ、東側二室の内南側を侍從詰所供進所に宛て、北側に御厠を設け階下の二室を内廷課及近衛士官の用に宛て給ひしなり。

御小休當日の御模様を顧るに是日聖駕は早旦岡山縣和氣郡三石の行在所を發し給ひ、船坂峠の嶮を越えて本縣管内に入御あり、梨ヶ原及東有年の御小休所を経て午前十時卅二分、當御小休所に御到着遊され、十一時八分に到る卅六分間宸憩あらせられたり。東有年御小休より此處に到る二里一町餘。此の間に千種川あり。東有年御小休より此處に到る約十町の間は御馬を召され、設くる所の船橋は御歩行にて渡御あり、それより御馬車を召され行を進め給へり。當所より次の正條御小休所に到る一里廿三町の間は同じく御馬車を召されたり。

御駐輦の際の施設は他の御小休所の例に同じく、御小休と書せる建札御料卓二脚御厠等を準備、玄關及二階々段等の御通路、御座所廣間には天竺木綿布を敷けり。是等當所にて準備せし御使用品は後日御下渡に相成りしが、今遺存せるは建札(竪一尺九寸八分、横六寸九分)のみなり。尙御膳水は御小休所東に隣接せる陰平久吉宅地(現在寺内政市所有地)の井戸水を用ひ給へり。

明治天皇行幸年表

近畿・中國・九州行幸

五年五月廿三日	東京御發輦 （濱離宮より端船に乗御品川沖にて軍艦龍驤に御移乗）	御發艦
廿五日	三重縣久志本村	御上陸
廿七日	宇治山田市	御二泊
廿八日	三重縣久志本村	御乗船
同	大阪府	御上陸御小休
三十日	大阪市淀川筋	御二泊
六月四日	京都府	御乗船
同	京都御所	御四泊
六日	京都御所御發輦	
七日	大阪府	
同	大阪外國事務局前乘御發艦	御三泊
同	香川縣	御假泊
同	小豆島	

八日	廣島縣鞆町	鞆津	御假泊
十日	下關市西南部町	大小路波止場	御上陸
	下關市阿彌陀寺町	下關行在所舊本陣伊藤九藏宅	御三泊
十三日	下關市	大倉波止場	御乘艦
十四日	長崎市	長崎大波止場	御上陸
	長崎市島原町	長崎行在所高木貴一郎宅	御二泊
十六日	長崎市	大波止場	御乘艦
	熊本縣小島町	坪井川岸	御上陸
	同右	小島行在所米村基三郎別宅	御泊
十七日	熊本市	熊本行在所會補堂舊客舍	御三泊
二十日	熊本縣小島町	米村基三郎別宅	御小休
	(小島沖軍艦乘御發艦)		
廿二日	鹿兒島市	港内波止場	御上陸
	鹿兒島市	鹿兒島行在所鎮臺營所	御泊七月一日迄御駐紮
七月二日	鹿兒島		御發艦

大和國並京都行幸

十年一月廿四日

東京假皇居御發輦(新橋停車場より御乘車、横濱停車場著御横濱港より高尾丸に乗御) 御發船

廿六日

三重縣鳥羽町

鳥羽行在所常安寺

御假泊

廿七日 同 同 鳥羽港 御發船
廿八日 神戸市 神戸港 御上陸
同 神戸郵便局 御小休
神戸停車場 御發
七條停車場 着御
京都御所 御泊二月六日まで御駐
輦

五日 (京都神戸間鐵道開通式臨幸)

京都市 七條停車場 御發
大阪市 大阪停車場 式場臨御
神戸市 神戸停車場 同右
京都市 七條停車場 同右
七日 京都府宇治町 宇治行在所萬碧樓上田俊
造宅 御泊
八日 奈良縣奈良市 奈良行在所東大寺中東南
院 御二泊
十日 奈良縣今井村 今井行在所稱念寺 御二泊

十二日 大阪府道明寺村

道明寺行在所南坊城良興
宅 御泊

十三日 堺市

堺行在所河盛仁平宅 御泊

十四日 大阪市

大阪行在所造幣局 御二泊

十六日 京都市

京都御所 還御七月二十七日ま
で御駐輦

七月 廿八日 皇后宮御同列京都御所御發輦

京都市

七條停車場 御發車

神戸市

神戸鐵道棧橋 廣島丸に御乗船

三十日 横濱市

横濱港 御上陸

假皇居還幸 (横濱停車場より新橋停車場迄御汽車乗御)

山梨・三重及京都行幸

十三年 六月 十六日

假皇居御發輦

八王子市寺町

八王子行在所谷合彌八宅 御泊

十七日 山梨縣上野原町

上野原行在所加藤景明宅 御泊

十八日 山梨縣笹子村

笹子行在所天野昇平宅 御泊

十九日	山梨縣甲府市錦町	甲府行在所師範學校	御三泊
廿二日	山梨縣菅原村	菅原行在所北原延世宅	御泊
廿三日	長野縣上諏訪町	上諏訪行在所高島學校	御泊
廿四日	長野縣松本市	松本行在所神道事務分局	御泊
廿五日	長野縣宗賀村	本山行在所小村吉太夫宅	御泊
廿六日	長野縣福島町	福島行在所柏原郷雄宅	御泊
廿七日	長野縣讀書村	三留野行在所鮎澤謙宅	御泊
廿八日	岐阜縣大井町	大井行在所伊藤彌兵衛宅	御泊
廿九日	岐阜縣多治見町	多治見行在所西浦圓治宅	御泊
三十日	愛知縣名古屋市	名古屋行在所東本願寺別院	御二泊
七月二日	三重縣桑名町	桑名行在所東本願寺別院	御泊
三日	三重縣神戸町	神戸行在所專修寺別院	御泊
四日	三重縣津市	津行在所願正寺	御三泊
七日	三重縣宇治山田市	山田行在所龍重光宅	御二泊
九日	三重縣一身田町	一身田行在所專修寺	御泊
十日	三重縣龜山町	龜山行在所伊藤藤林次郎宅	御二泊

十二日	滋賀縣土山町	土山行在所立岡長衛宅	御泊
十三日	滋賀縣草津町	草津行在所駒井與左衛門宅	御泊
十四日	京都市	京都御所	御泊 二十日迄御駐輦

二十日	京都市	七條停車場	御發車
廿一日	神戸市	神戸行在所對賓館	御泊
	同	兵庫縣廳	臨御
	同	師範學校	同
	同	物產陳列所	同
	同	裁判所	同
	同	湊川神社	境內御通過
	同	神戸稅關	御小休
	同	第一波止場	御召艦扶桑乘御發艦
廿三日	橫濱市	橫濱港	御上陸

假皇居還御 (橫濱停車場より御汽車乘御)

山口・廣島・岡山・三縣御巡幸

十八年 七月 廿六日

假皇居御發遣(新橋停車場より御汽車にて横濱停車場著御)

横濱市

横濱港

横濱丸に乗御

廿七日

神戸市

神戸港

御上陸

同

神戸行在所專崎彌五平宅

御泊

廿八日

同

神戸港

御發船

愛媛縣大邊浦

御假泊

廿九日

山口縣三田尻

三田尻港

御上陸

山口市

山口行在所毛利元德別邸

御二泊

卅一日

廣島縣嚴島濱町

嚴島行在所大聖院

御泊

八月 一日

廣島縣廣島市

廣島行在所偕行社

御三泊

四日

廣島縣宇品

宇品港

御發船

廣島縣倉橋島

南濱倉橋

御假泊

五日

岡山縣

岡山灣沖新田港

御着船御上陸

岡山縣岡山市

岡山行在所後樂園

御二泊

七日

岡山縣三石町

三石行在所寶珠院

御泊

八日

兵庫縣船坂村

梨ヶ原瀧川武平宅

御小休

同 有年村

馬路

御小休

同 同

東有年柳原逸郎宅

御小休

同 若狹野村

入野鶴龜警察分署

御小休

同 神部村

正條井口市兵衛宅

御小休

同 斑鳩村

鶴大西勘兵衛宅

御小休

同 太田村

山田山本喜三郎宅

御小休

姫路市

姫路行在所本德寺

御泊

御國野村

御着延命寺

御小休

九日

阿彌陀村

阿彌陀地藏院

御小休

加古川町

寺家町山脇伊平宅

御小休

平岡村

土山増田性藏宅

御小休

大久保村

大久保安藤彌三太宅

御小休

明石市

明石行在所光明寺

御泊

垂水町

山田河合卯兵衛宅

御小休

十日

京都行幸

神戸市 西須磨直井藤左衛門宅 御小休
神戸市 神戸行在所專崎彌五平宅 御泊
同日 鐵道構内棧橋 横濱丸乗御發船
十二日 横濱市 横濱港 御著船上陸
假皇居還幸 (横濱停車場より新橋停車場迄御汽車乗御)

二十年一月廿五日 東京御發輦 (皇后宮御同列新橋停車場發御、横濱停車場著御)

横濱市 横濱港 軍艦浪速に乗御
廿六日 神戸市 神戸港 御著船上陸
同 神戸御用邸 御小休
同 神戸停車場 御發車
京都市 京都御所 御泊 二月十五日迄御駐輦

京都御所

駐輦

二月十五日 皇后宮御同列大阪行幸

大阪市 大阪行在所偕行社

御泊

十六日 京都御所還幸 京都御所 御泊 廿一日迄御駐輦

廿一日 皇后宮御同列京都行在所御發輦

愛知縣名古屋市 名古屋行在所東本願寺別院 御二泊

廿三日 愛知縣武豐町 武豐港 浪速艦に乗御

廿四日 横濱市 横濱港 御著艦御上陸

皇居還幸 (横濱停車場より新橋停車場迄御汽車乗御)

愛知・京都・廣島・長崎各府縣行幸

二十三年三月廿八日 東京御發輦

名古屋市 名古屋大本營東本願寺別院 御泊

廿九日 愛知縣武豐町 軍艦八重山御乘艦 御假泊

卅日 同 半田町 小栗富次郎宅 御泊

卅一日 名古屋市 名古屋大本營東本願寺別院 御泊 四日迄御駐輦

五日 京都行幸

京都市 京都御所 御泊 十七日迄御駐輦

十八日

神戸行幸

神戸市

神戸御用邸

御小休

軍艦高千穂へ乗御神戸港内にて海軍觀艦式天覽

御發艦

吳行幸

香川縣小豆島

御假泊

廣島縣吳港

御假泊

廣島縣吳市

吳行在所軍政會議所

御泊

同 江田島

江田島行在所海軍兵學校文庫

御泊

廿三日

佐世保行幸

福岡縣邊崎沖

御假泊

山口縣小瀬戸

御假泊

長崎縣佐世保市

佐世保行在所軍政會議所

御泊

廿六日

御發艦

廿八日

神戸市

神戸港

御著艦御上陸

同

神戸御用邸

御小休

(神戸より御汽車にて京都著御)

京都市

京都御所

御泊 五月五日迄御駐
輦

五月 六日

京都御發輦

(御汽車にて名古屋著御)

名古屋市

名古屋行在所東本願寺
別院

御泊

七日

宮城還幸

京都行幸露國皇太子御遭難御親問

二十四年 五月 十二日

東京御發輦

京都行在所京都御所

御泊廿日迄御駐輦

十三日

同

神戸行幸

(京都より御汽車にて神戸驛御著)

神戸市

神戸御用邸

御小休

(棧橋まで露國皇太子を御見送)

(神戸停車場より御發車京都還御)

十九日

神戸行幸

(京都より御汽車にて神戸驛御著)

神戸市

神戸御用邸

御小休

神戸港

露艦アゾバ號

臨御

(神戸驛より御汽車にて京都へ還幸)

廿一日

(京都御發轅御汽車にて静岡御著)

静岡市

静岡行在所大東館

御泊

廿二日

新橋著御

宮城還幸

大阪行幸陸軍特別大演習御統裁

三十一年 十一月 十三日

東京御發轅 (新橋より御汽車にて名古屋御著)

名古屋市

名古屋行在所名古屋離宮

御泊

十四日

大阪市

大阪大本營第四師團司令部

御泊 十八日迄御駐紮

十九日

神戸行幸

神戸市

神戸御用邸

御小休

軍艦富士乘御港内艦隊運動天覽大阪大本營へ還御

廿日

(大阪大本營御發轅御汽車にて静岡御著)

静岡市

静岡行在所縣會議事堂

御泊

廿一日

宮城還幸

兵庫縣行幸海軍特別大演習御親臨

三十三年 四月 廿六日

東京御發轅 (新橋より御汽車にて名古屋御著)

名古屋市

名古屋行在所名古屋離宮

御泊

廿七日

兵庫縣垂水町

舞子行在所栖川宮御別邸

御泊

廿八日

舞子濱假棧橋より水雷艇乗御、御召艦淺間に移御、紀州水道附近に於て海軍大演習天覽

和歌山縣

和歌浦

御假泊

廿九日

(舞子還御)

兵庫縣垂水町

舞子行在所栖川宮御別邸

御泊五月二日迄御駐紮

三十日

舞子濱假棧橋より淺間艦に乗御、神戸港内觀艦式臨御、敷島艦へ移御宴を賜ふ、了つて御召艦に復御神戸御發轅舞子還御

五月 一日

御駐紮

二日

東京御發轅 (舞子行在所御發轅御汽車にて名古屋御著)

名古屋市

名古屋行在所名古屋離宮

御泊

三日

宮城還幸

熊本行幸陸軍特別大演習御統裁

三十五年 十一月 七日

(新橋驛より御汽車にて名古屋著御)

名古屋市

名古屋行在所名古屋離宮 御 泊

兵庫縣垂水町

舞子行在所所有栖川宮御別 邸 御 泊

山口縣長府町

長府行在所毛利元敏邸 御 泊

熊本縣熊本市

熊本大本營第六師團司令部 御 泊 十五日迄御駐紮

十五日

(熊本大本營發御、長府著御)

山口縣長府町

長府行在所毛利元敏邸 御 二 泊

十七日

兵庫縣垂水町

舞子行在所所有栖川宮御別 邸 御 泊

十八日

靜岡市

靜岡行在所靜岡御用邸 御 泊

十九日

靜岡發御、新橋著御、宮城還幸

京都及大阪行幸、觀艦式並第五回勸業博覽會開會式臨御

三十六年 四月 七日

東京御發轅 (新橋より御汽車にて名古屋著御)

名古屋市

名古屋行在所名古屋離宮 御 泊

八日

兵庫縣垂水町

舞子行在所所有栖川宮御別 邸 御 泊

九日

同

同 御 泊 四月十三日迄御駐 紮

十日

神戸市

神戸第二波止場税關監視 部 御 小 休

十一日

兵庫縣垂水町

舞子行在所所有栖川宮御 別邸 御 駐 紮

十二日

同

同 同

十三日

(舞子發御、京都著御)

京都行在所京都御所 御 泊 五月九日まで御駐 紮

九日

(京都御發轅御汽車にて靜岡御著)

靜岡市

靜岡行在所靜岡御用邸 御 泊

十日

皇居還幸

舞子行幸、陸軍特別大演習御統裁

三十六年	十一月	十一日	東京御發輦 (新橋より御汽車にて名古屋著御)	名古屋市	名古屋行在所名古屋離宮	御泊十八日迄御駐輦
		十二日	兵庫縣垂水町	舞子大本營有栖川宮御別邸	御泊	
		十三日	兵庫縣加古郡氷丘村	氷丘山	大演習御統裁	
		十四日	同明石郡岩岡村	古郷	大演習御統監	
		十五日	同飾磨郡四郷村	上鈴山	大演習御統監	
			同	山脇	御講評	
		十六日	姫路市	姫路城北練兵場	觀兵式臨御	
			同	姫路偕行社	御小休	
			同	被服倉庫内御饗宴場	臨御	
		十七日	兵庫縣垂水町	舞子大本營	御駐輦	
		十八日	(舞子大本營發御、靜岡著御)			
		十九日	宮城還幸	靜岡行在所靜岡御用邸	御泊	

奈良縣及兵庫縣下行幸、陸軍特別大演習御統裁並觀艦式御親關

四十一年	十一月	九日	東京御發輦 (新橋より御汽車にて靜岡著御)	靜岡市	靜岡行在所靜岡御用邸	御泊
		十日	奈良市	奈良大本營奈良俱樂部	御泊十四日迄御駐輦	
		十五日	(奈良大本營發御、舞子假停車場著御)			
			兵庫縣垂水町	舞子行在所所有栖川宮御別邸	御泊十九日迄御駐輦	
		十六日	同	同	御駐輦	
		十七日	同	同	同	
		十八日	神戸市	第二波止場税關監視部	御小休	
			神戸第二波止場より軍艦港間に乗御神戸沖に於て觀艦式御舉行、御召艦御賜宴場臨御			
		十九日	(舞子發御、靜岡著御)	靜岡市	靜岡行在所靜岡御用邸	御泊
		廿日	宮城還幸			

久留米行幸、陸軍特別大演習御統裁

四十四年 十一月 七日	東京御發輦 (新橋より御汽車にて静岡著御)	静岡行在所静岡御用邸	御泊
八日	姫路市	姫路行在所姫路偕行社	御泊
九日	山口縣防府町	三田尻行在所毛利元昭別邸	御泊
十日	福岡縣久留米市	久留米大本營福岡縣立中學校明善校	御泊 十五日迄御駐輦
十六日	山口縣防府町	三田尻行在所毛利元昭別邸	御泊
十七日	姫路市	姫路行在所姫路偕行社	御泊
十八日	名古屋市	名古屋行在所名古屋離宮	御泊
十九日	皇居還幸		

明治天皇行幸年表補遺 (第十四頁)

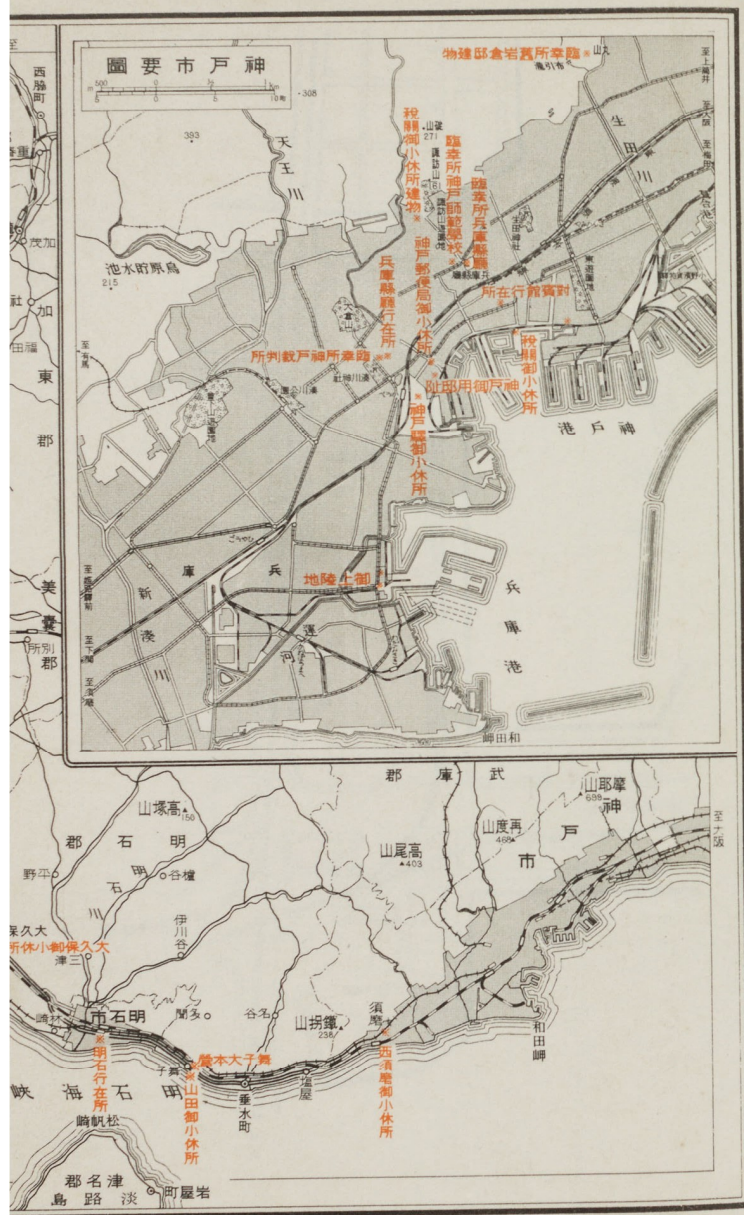
廣島及京都行幸

廿七年 九月 十三日	東京御發輦 (新橋より御汽車乘御名古屋著御)	名古屋行在所東本願寺別院	御泊
十四日	(名古屋より御汽車乘御神戸著御)	神戸御用邸	御泊
十五日	(神戸より御汽車乘御廣島著御)	廣島市	明治廿八年四月廿六日迄御駐輦
	廣島市	廣島大本營第五師團司令部	



圖

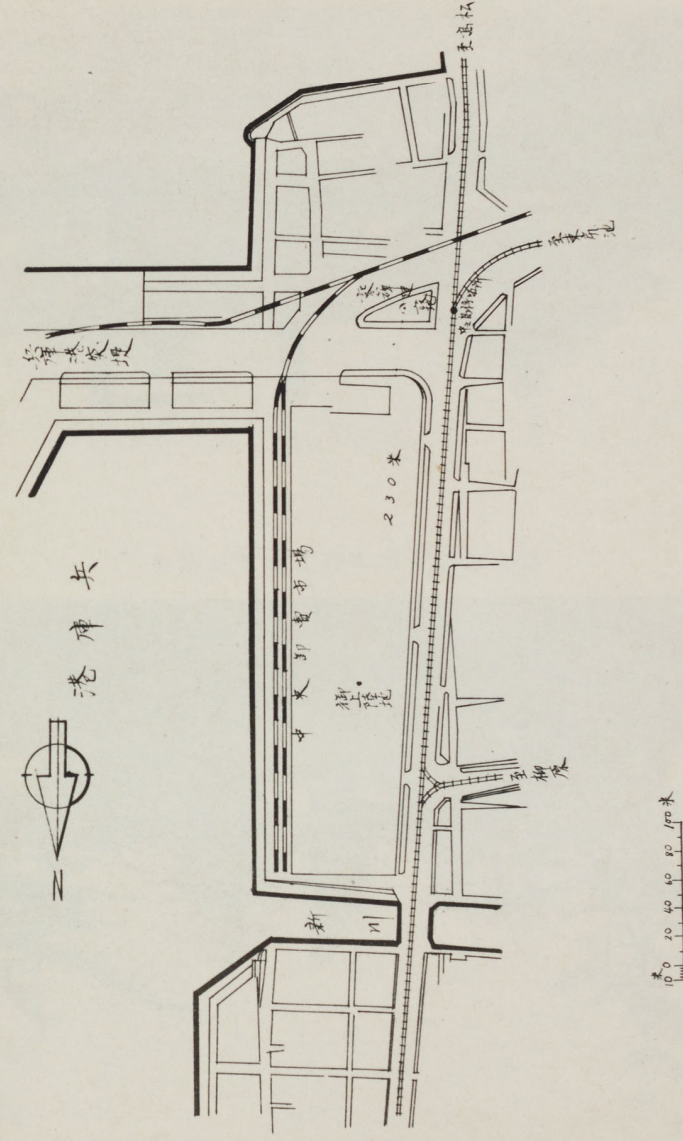
版



明治天皇聖蹟地圖



明治天皇兵庫御上陸地附近現狀地圖



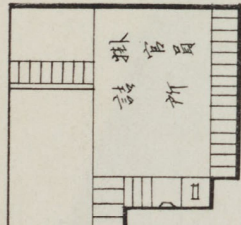


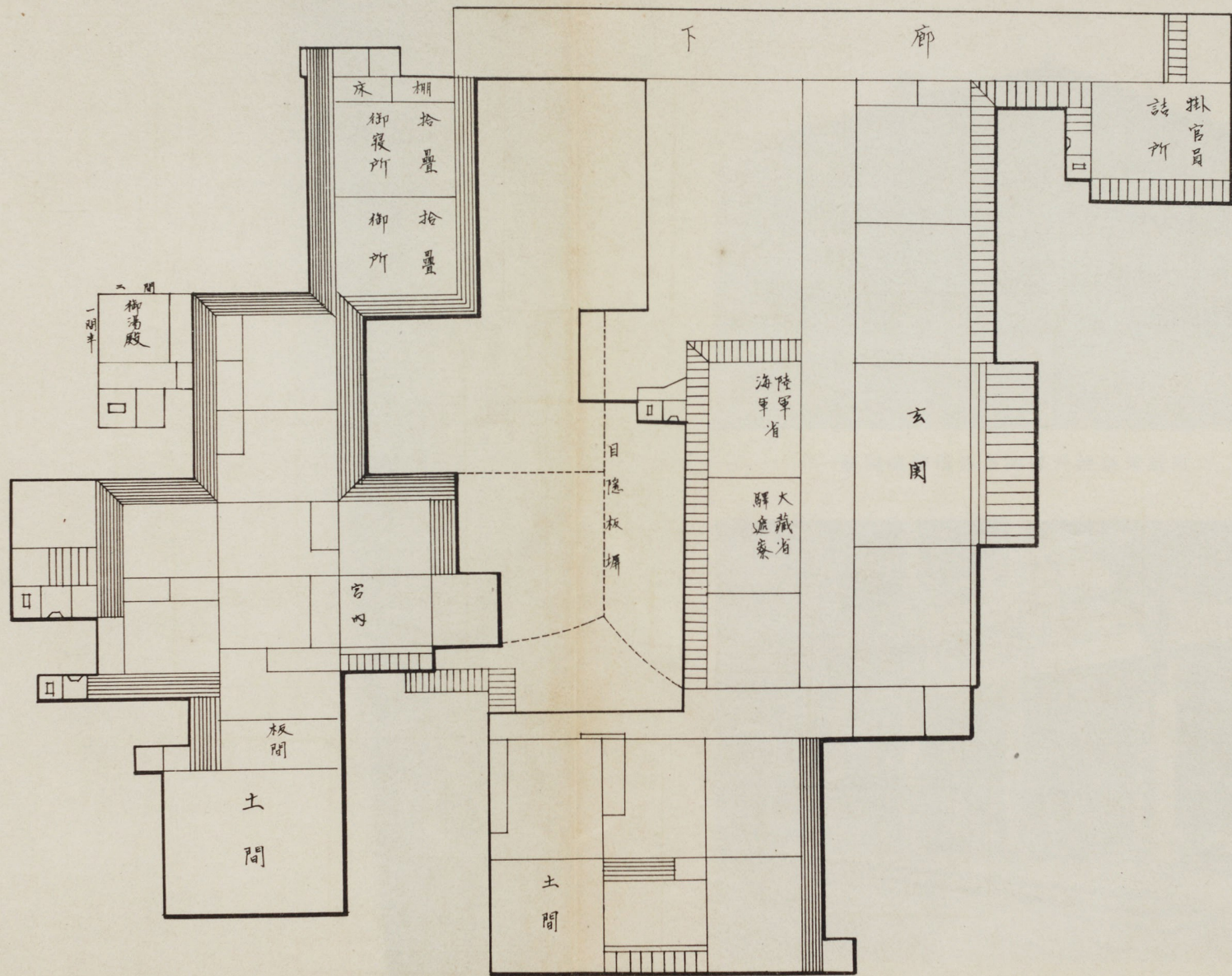
明治天皇陸地記念碑建設地



明治天皇行在所兵庫縣廳舊舍（兵庫裁判所時代）

明治天皇兵庫縣廳行在所御部屋割圖（兵庫縣記錄）



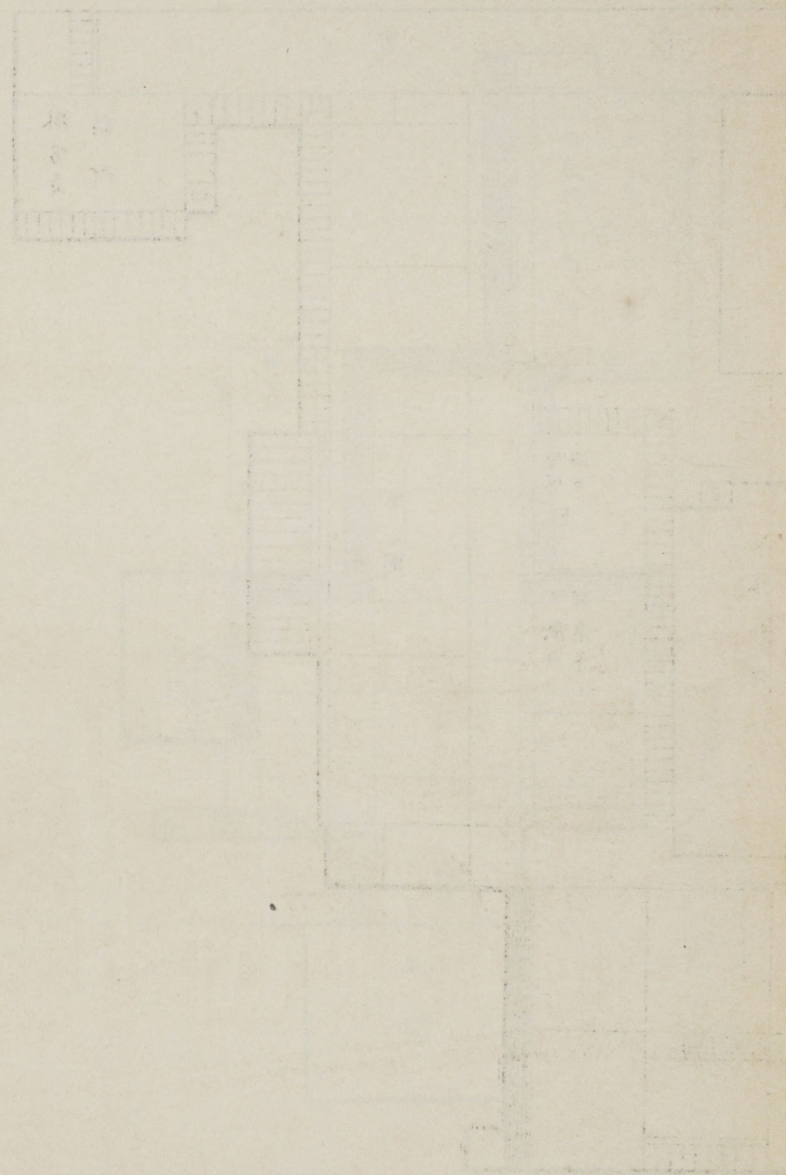


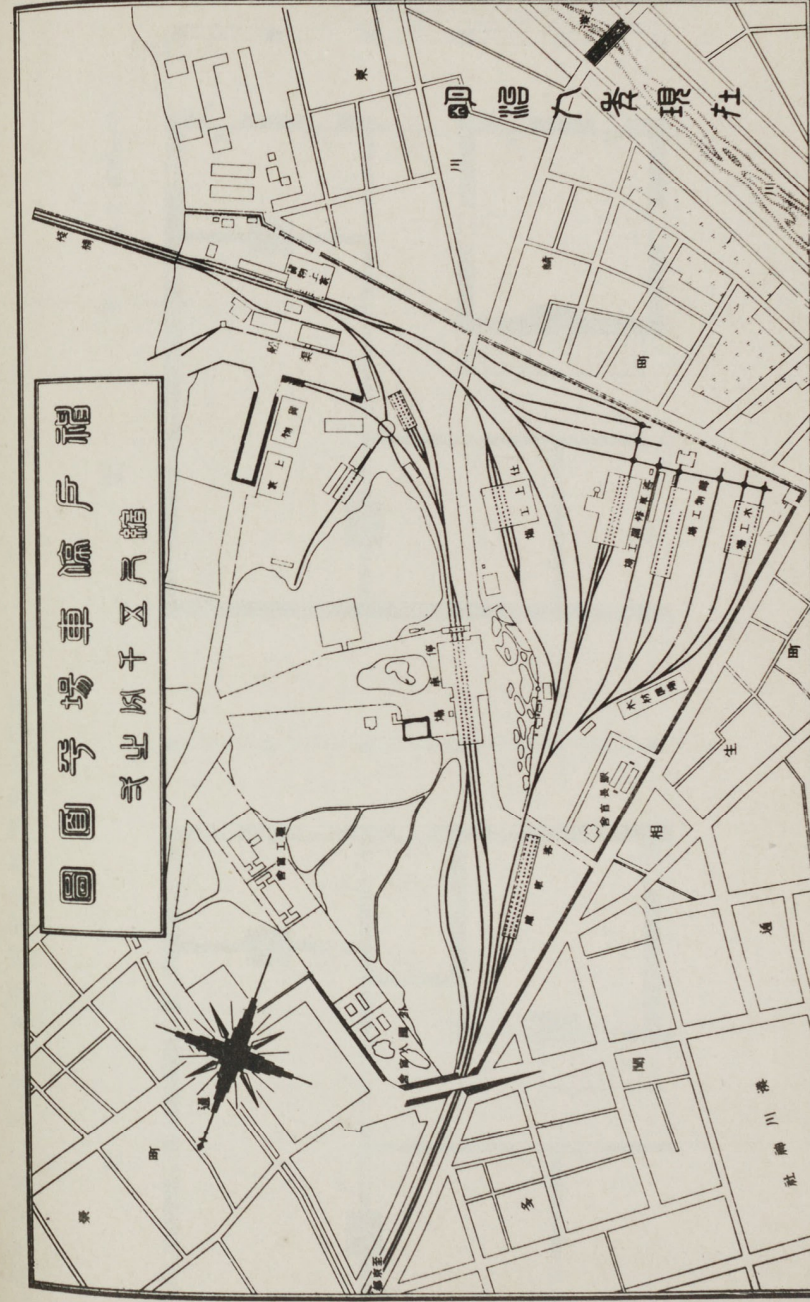


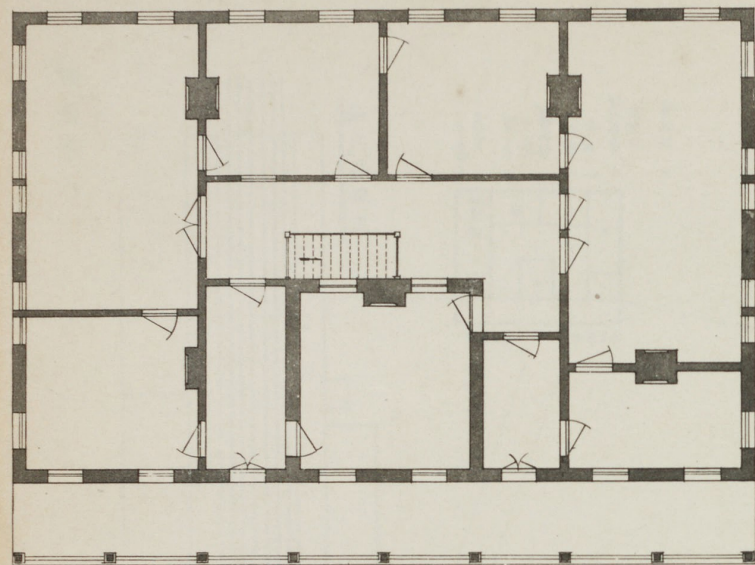
明治天皇神戶御小休所建物現狀



同上正面

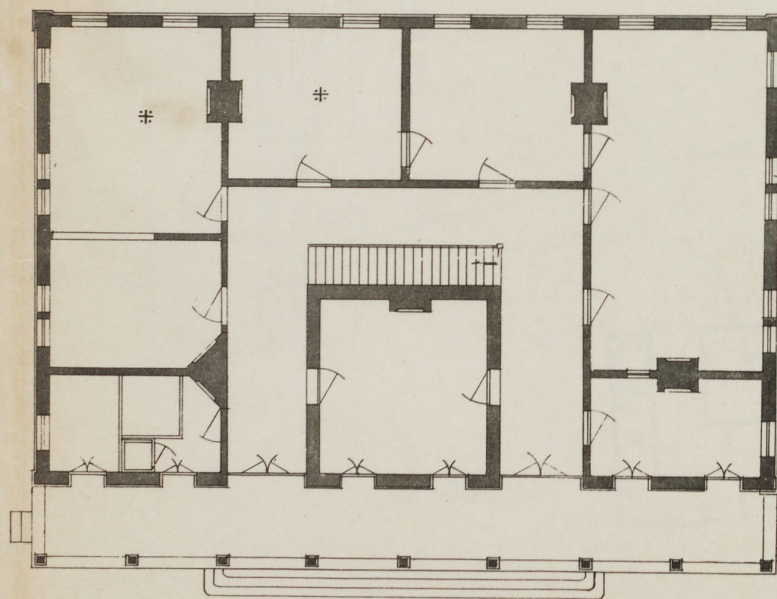






階上

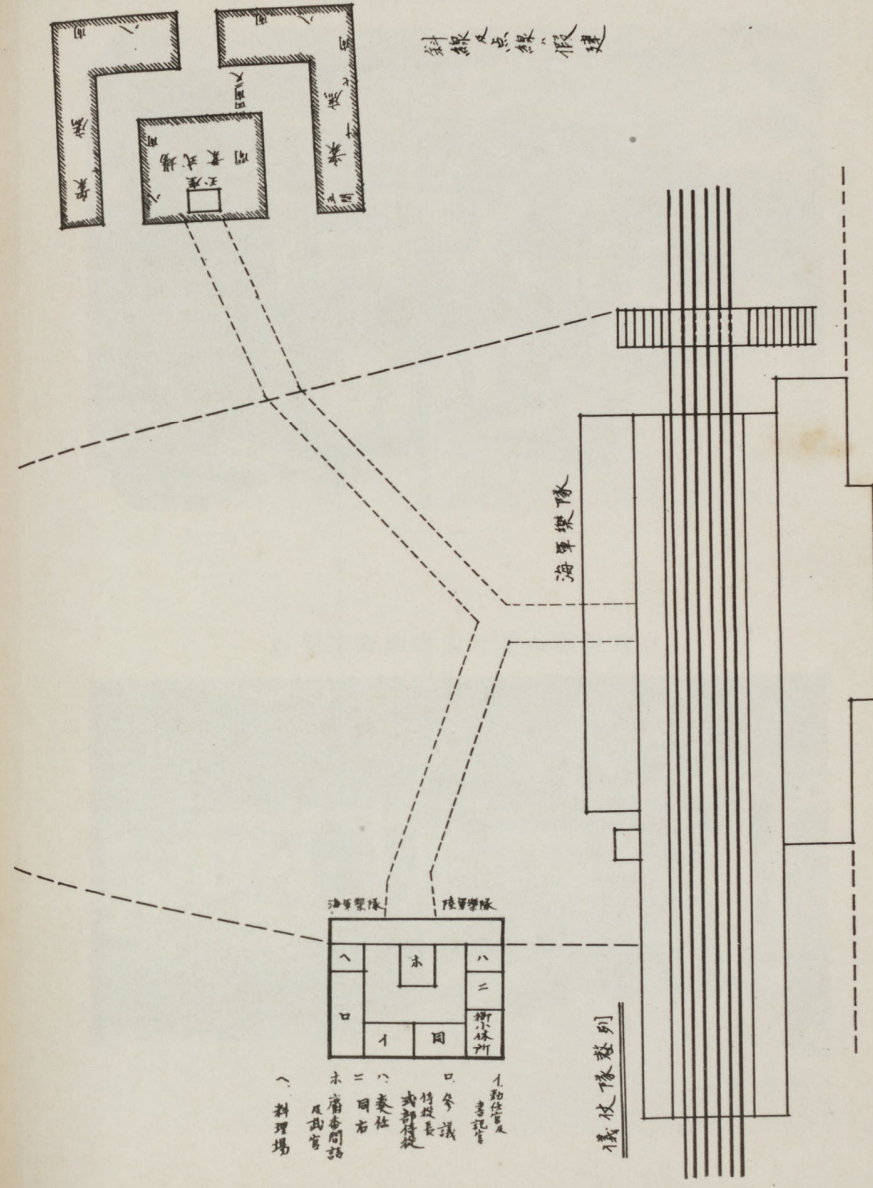
明治天皇神戶驛御小休所舊神戶驛廳舍平面圖



階下

井印御使用之室

0 5 10 20 30 尺





明治天皇臨幸兵庫縣廳舊廳舍



明治天皇臨幸神戸師範學校 (兵庫縣師範學校時代)



明治天皇幸所神戶地方裁判所舊廳舍

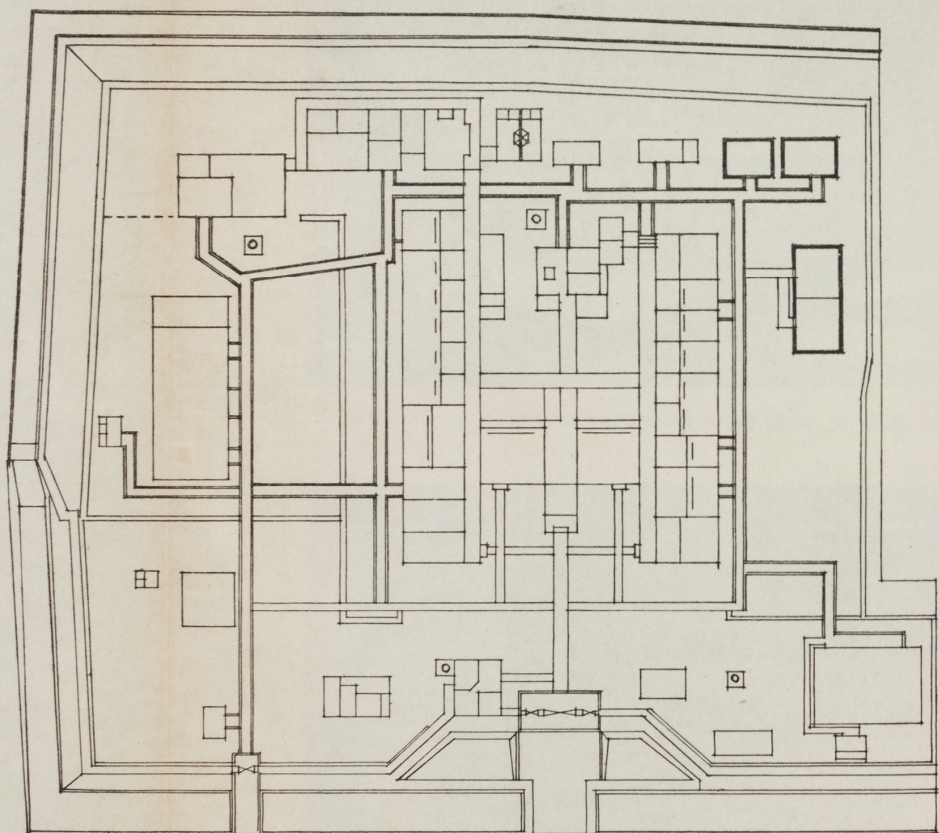


同上



同上前景

明治天皇臨幸所神戸地方裁判所平面圖

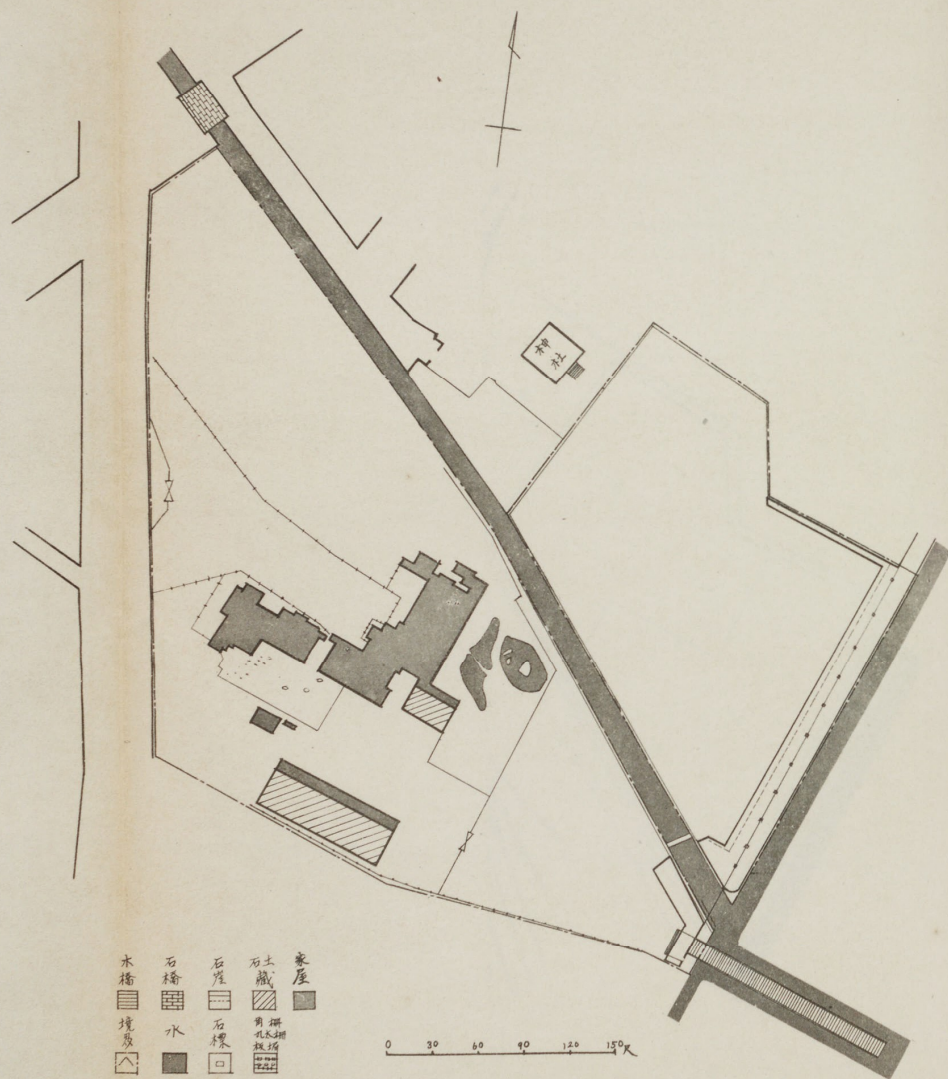




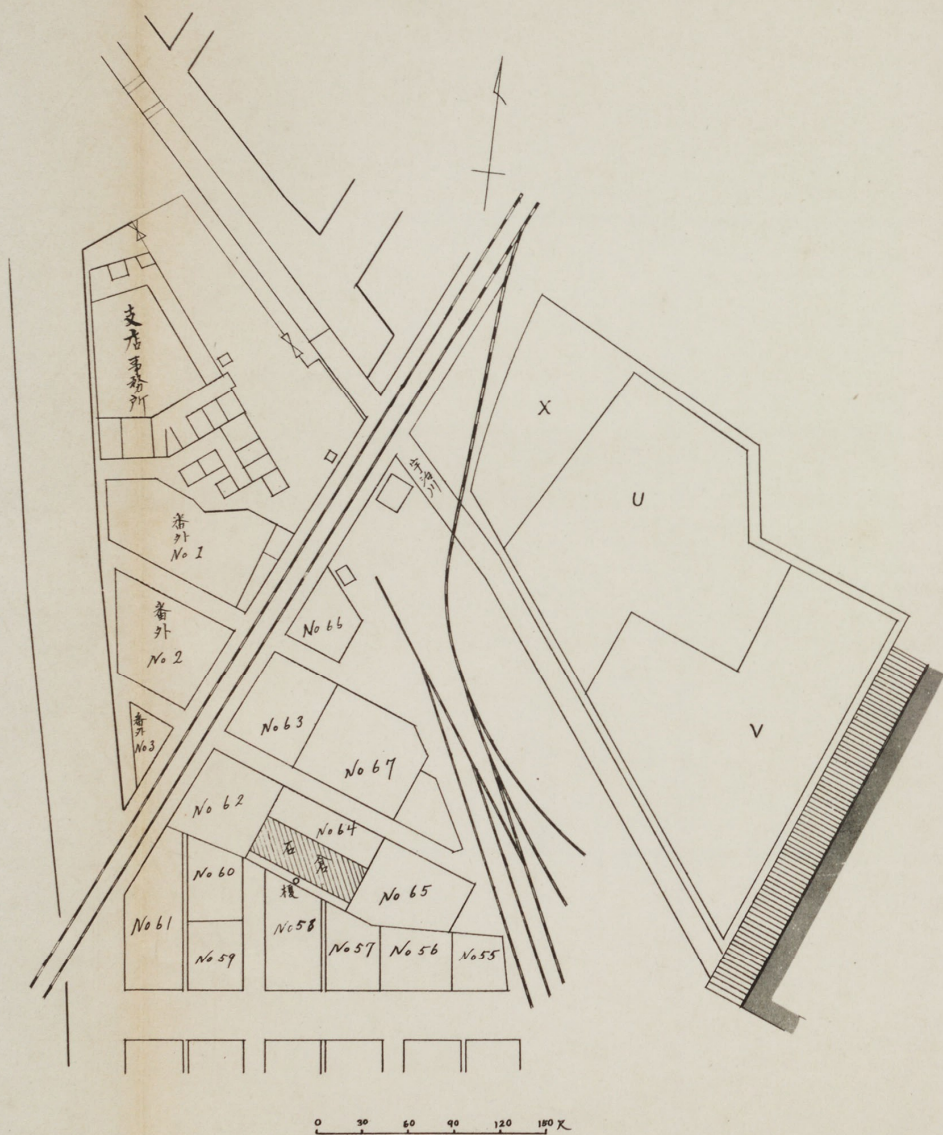
御用邸内石倉現狀 (三菱倉庫株式會社神戸支店內)



神戸御用邸趾記念碑 (三菱倉庫株式會社神戸支店内)

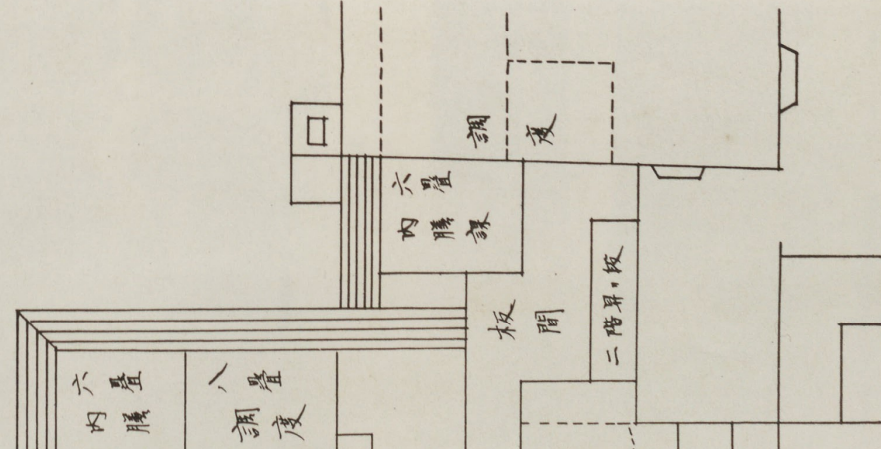
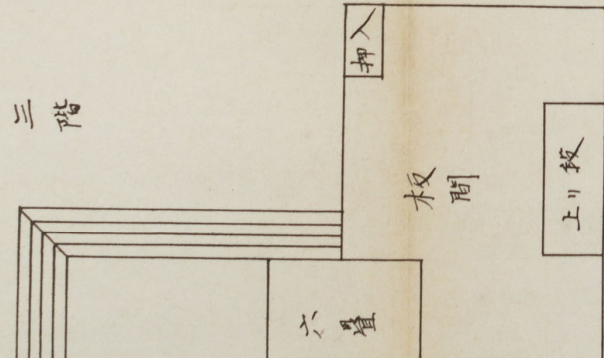


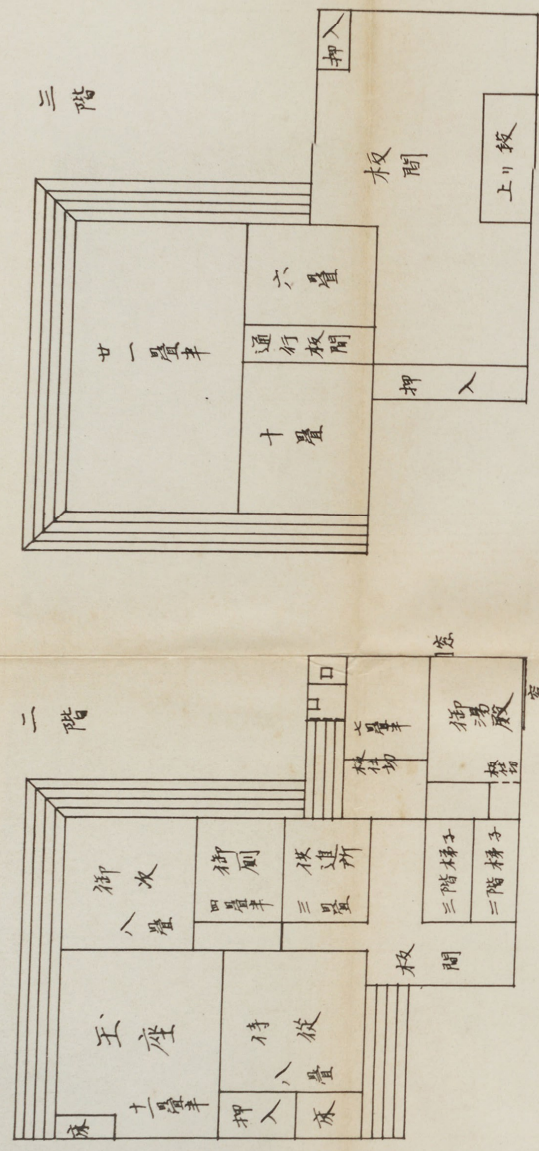
神戶御用邸舊狀平面圖



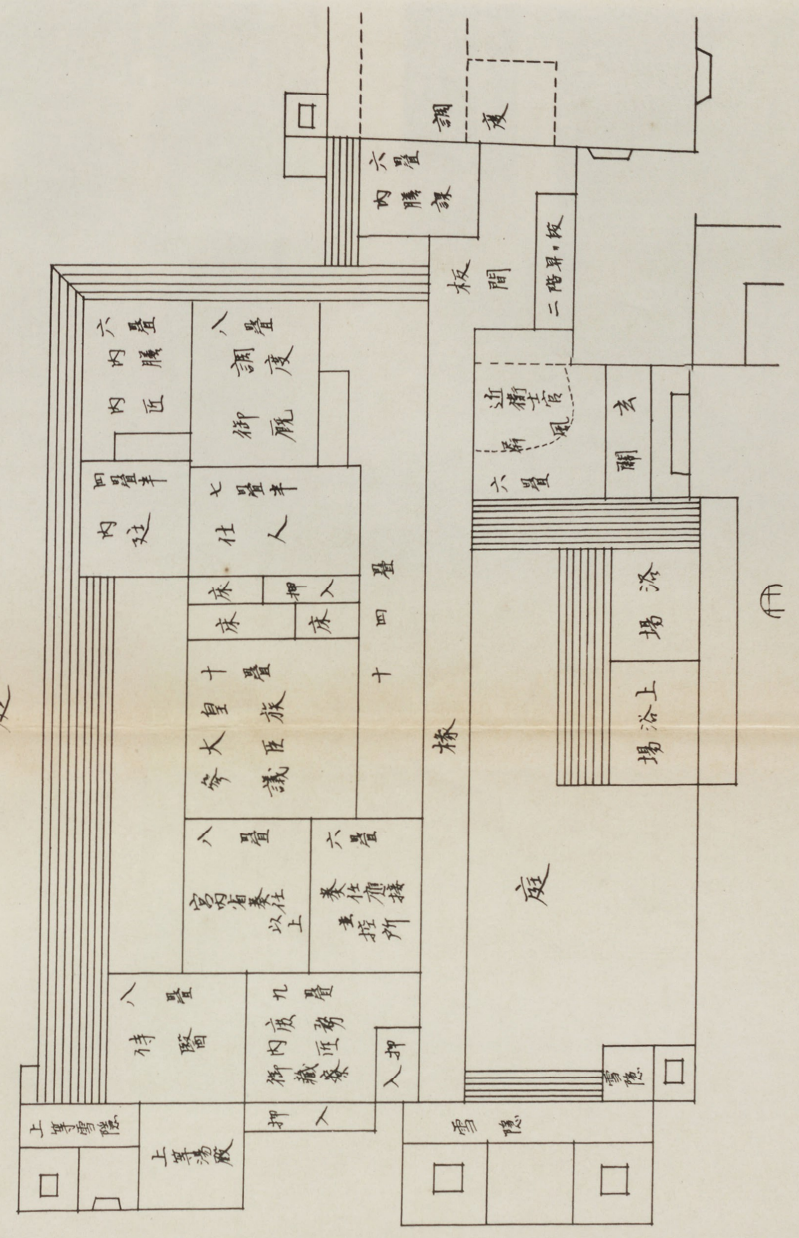
神戶御用邸 陸(三菱倉庫株式會社神戶支店所有地)實測平面圖

明治天皇神戸行在所(重崎邸)御部屋割圖 (兵庫縣記錄)



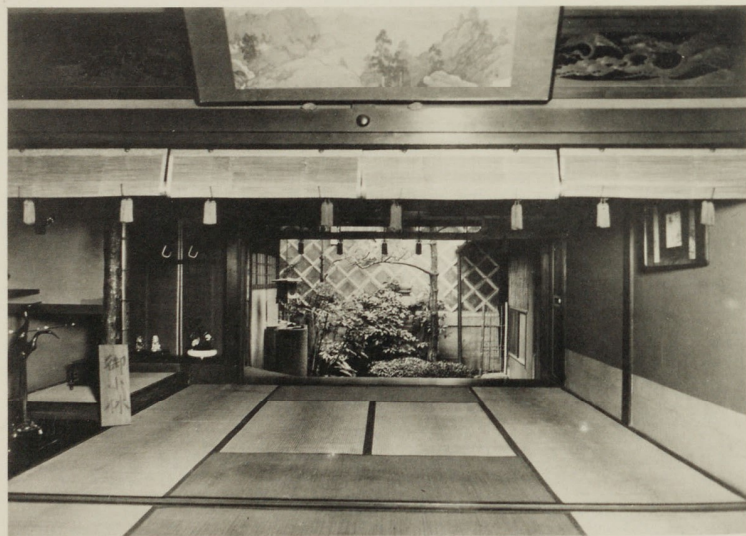


庭





明治天皇西須磨御小休所直井邸現狀



同上御座所

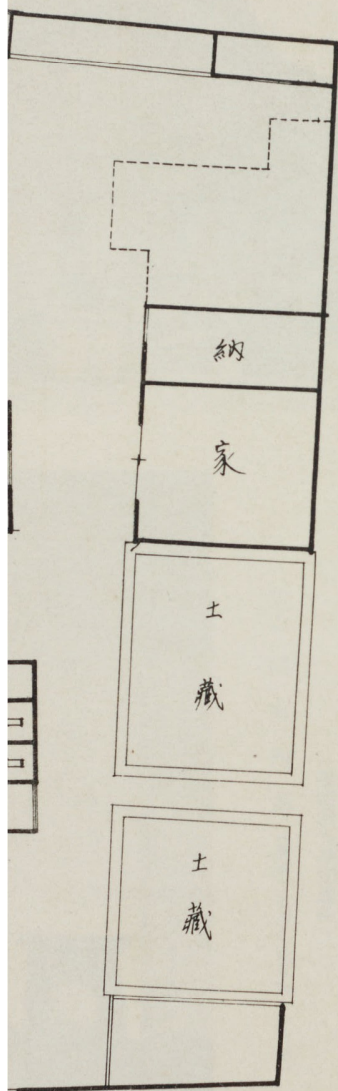


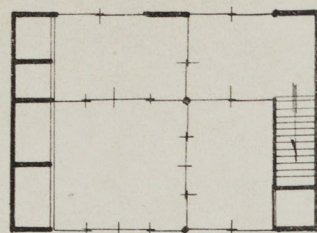
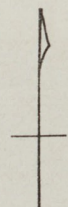
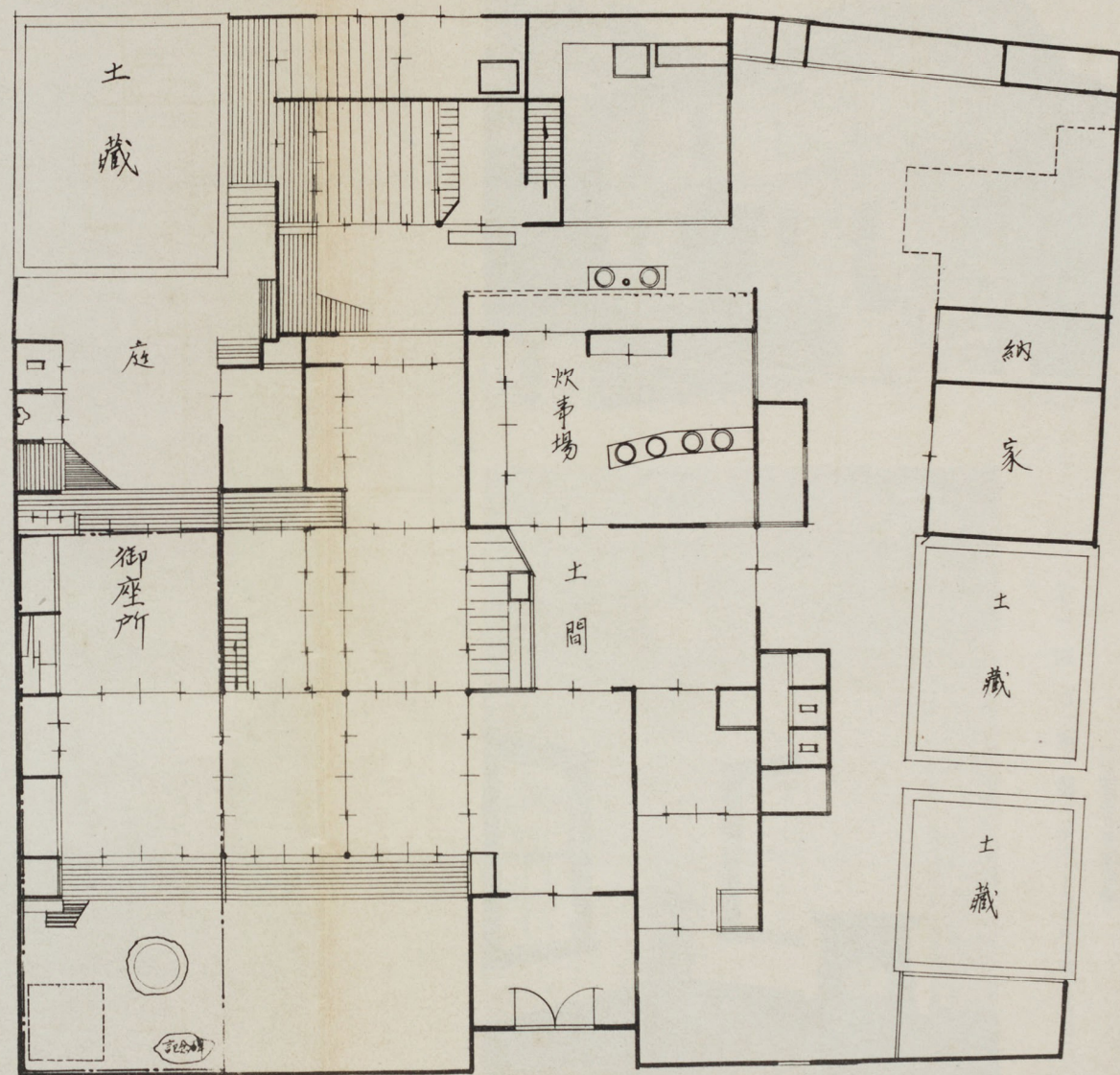
(上) 明治天皇西須磨御小休所記念碑
(下) 同 右 附近舊狀

(左方板塀家屋が御小休所直井邸)

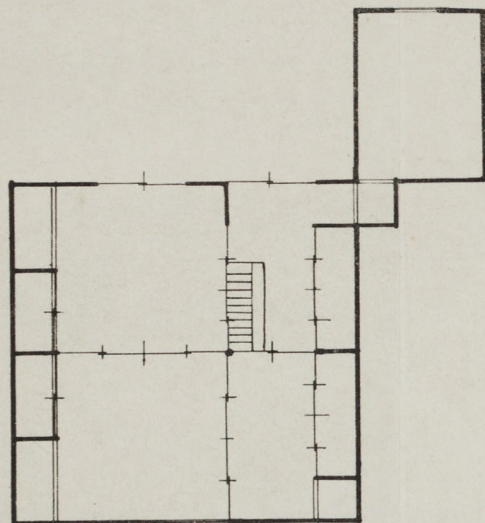


明治天皇西須磨御小休所直井邸現狀平面圖





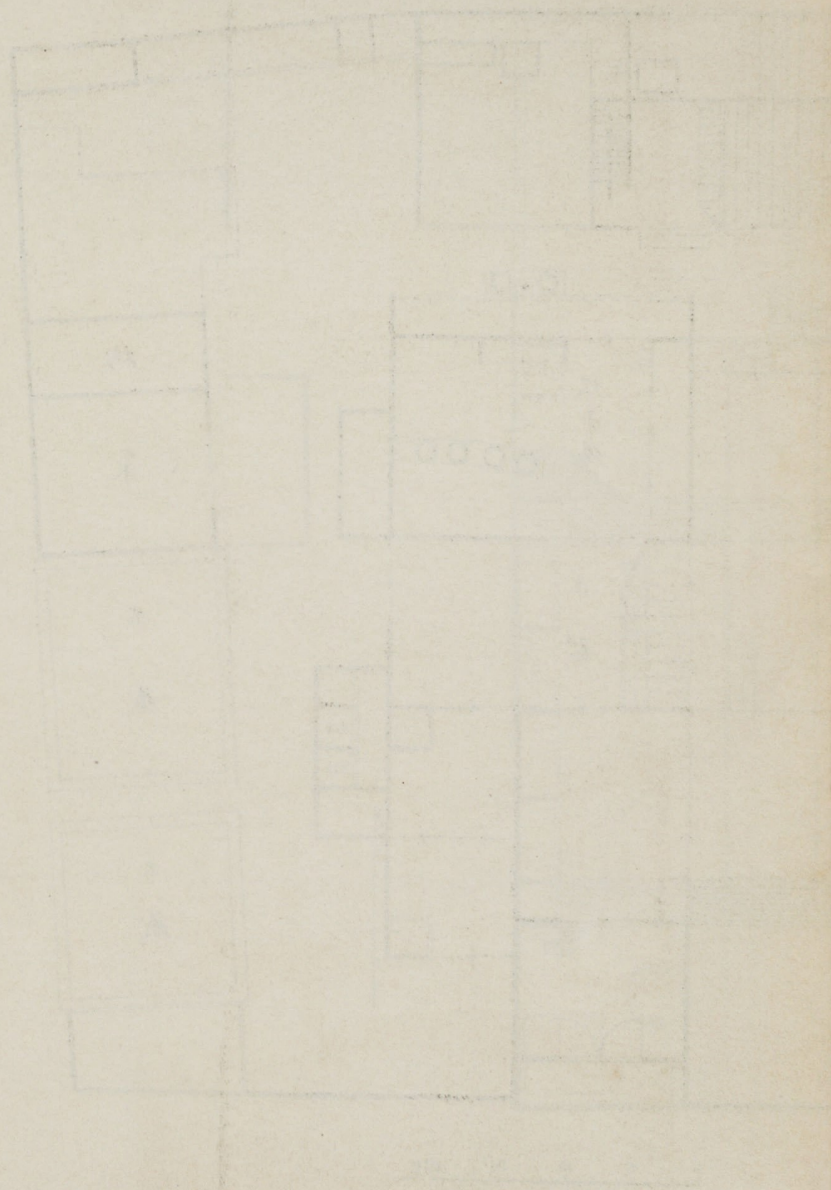
二階

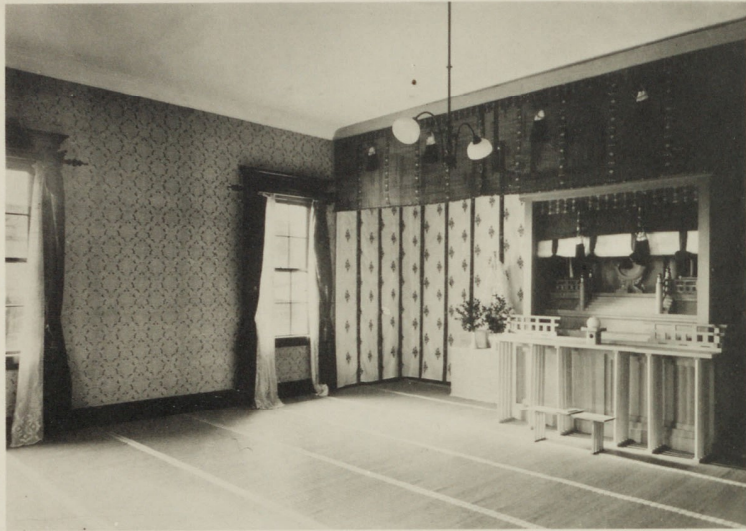


二階



(上) 明治天皇神戸税關監視部御小休所舊監視部廳舍現狀
(現明治天皇記念館)
(下) 同 右 内 部 (明治三十六年四月御小休の室)

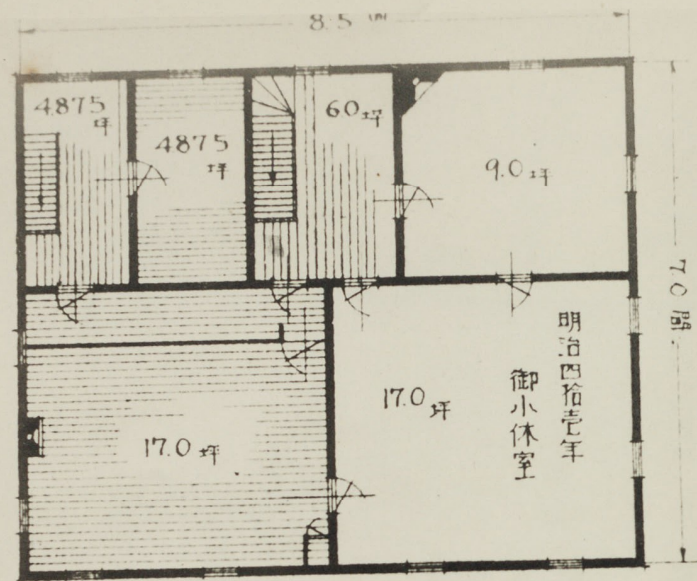




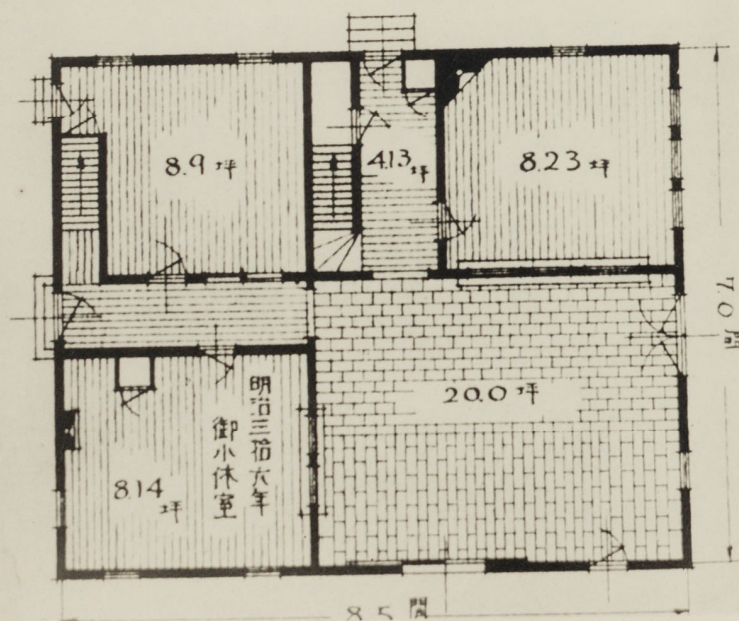
狀現部内(舎廳部視監舊)所休小御部視監關稅戶神皇天治明
(室の休小御月一十年一十四治明)



品用使御の際の休小御年一十四治明



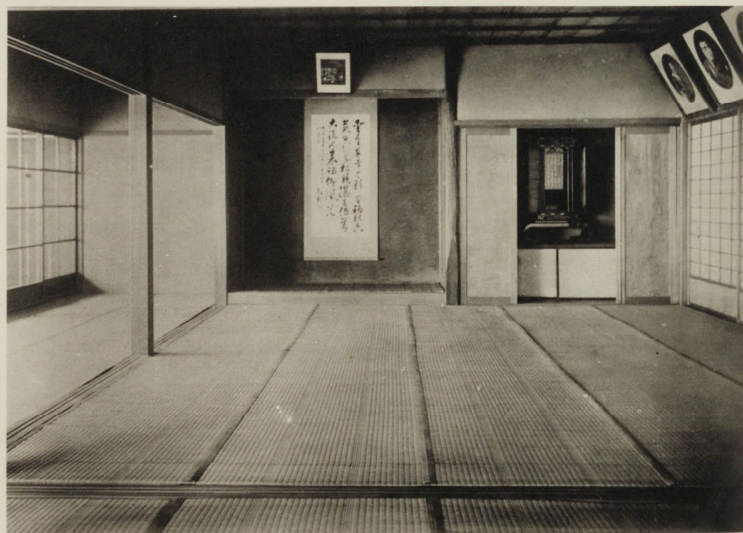
南側



明治天皇神戶税關監視部御小休所(舊監視部廳舎)舊狀實測平面圖

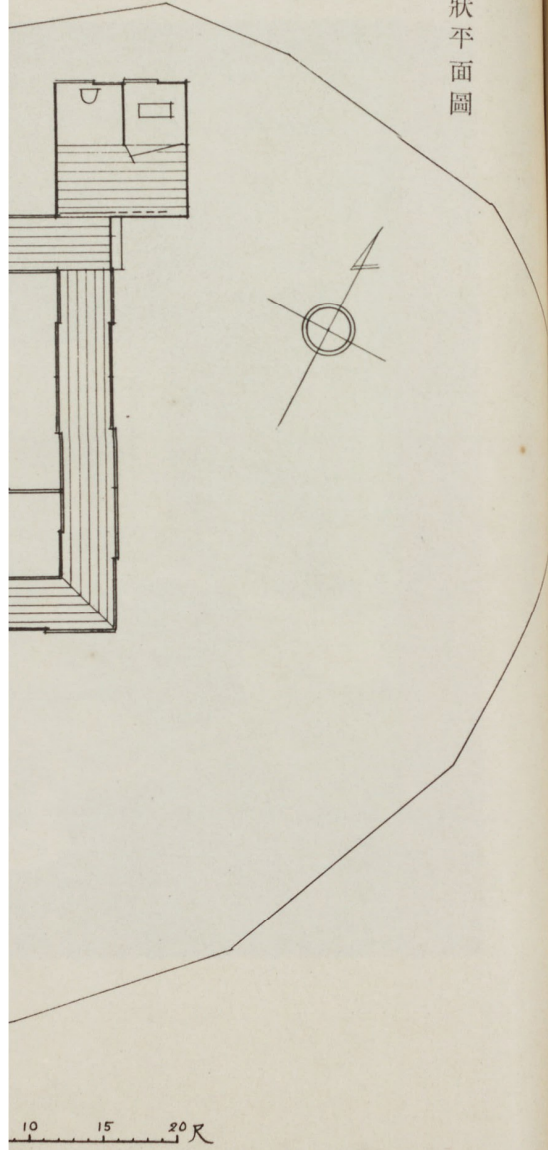


明治天皇行幸所舊岩倉公卿建物現狀



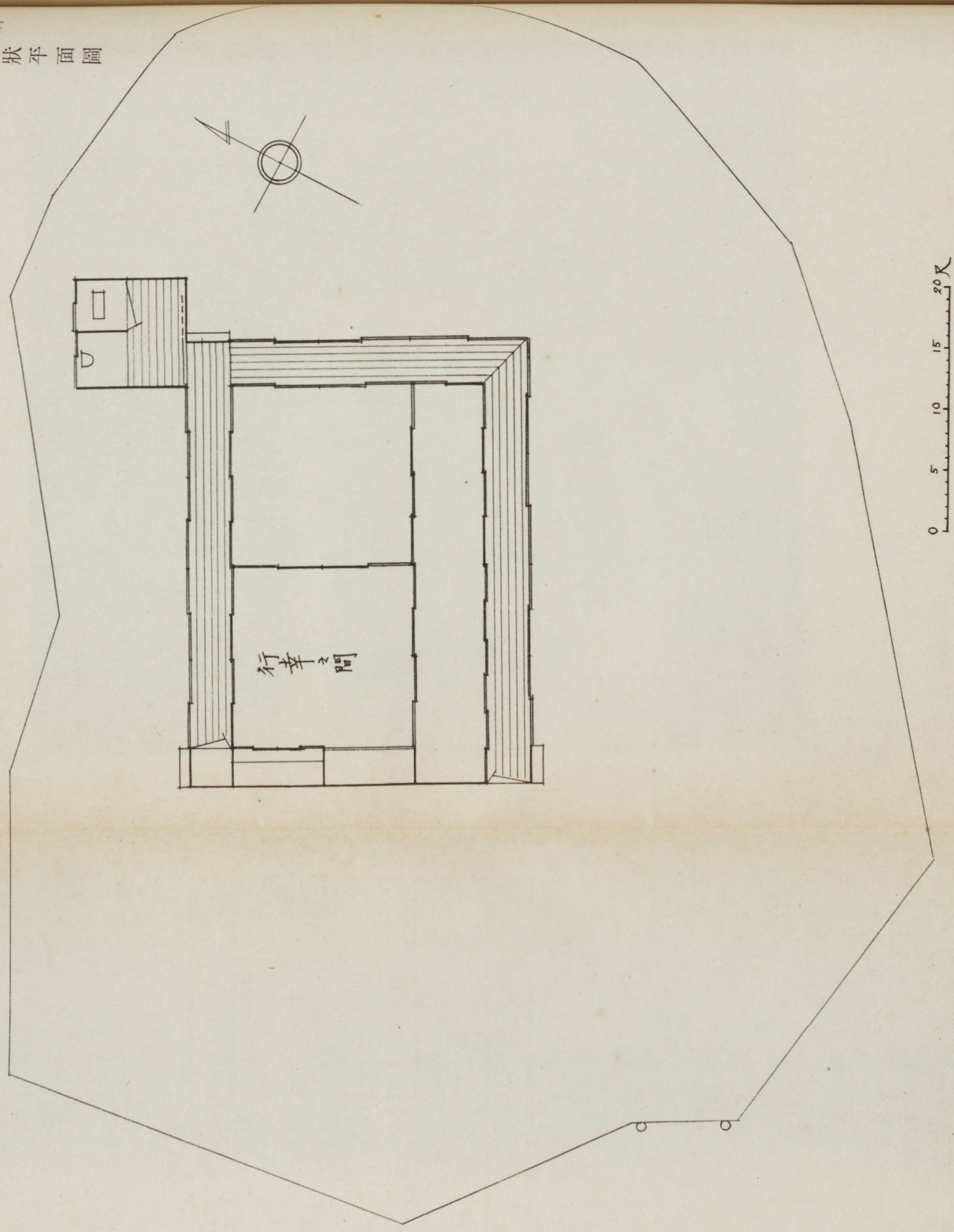
同上上行幸の間

明治天皇行幸所
舊岩倉公邸現狀平面圖



明治天皇行幸所

舊岩倉公邸現狀平面圖





北蓮透畫伯謹作「岩倉邸行幸」
(明治神宮外苑聖德太子記念繪畫館藏)



狀現院書寺德本所座御所在行路姫皇天治明



部 内 上 同



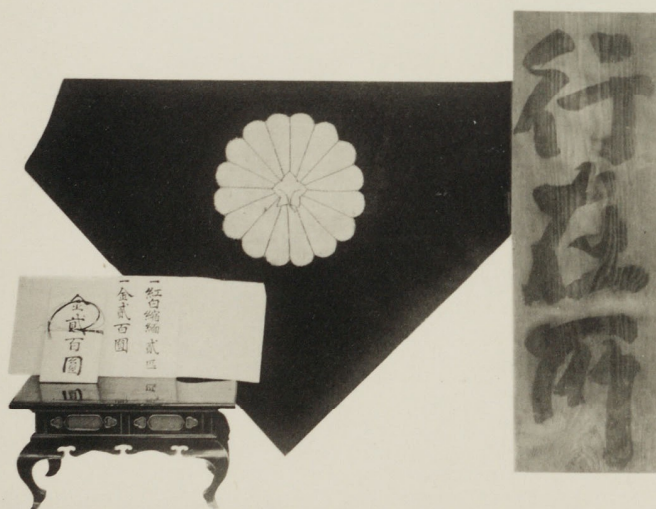
明治天皇御行路本德寺御車寄舊狀



同 上 記 念 碑

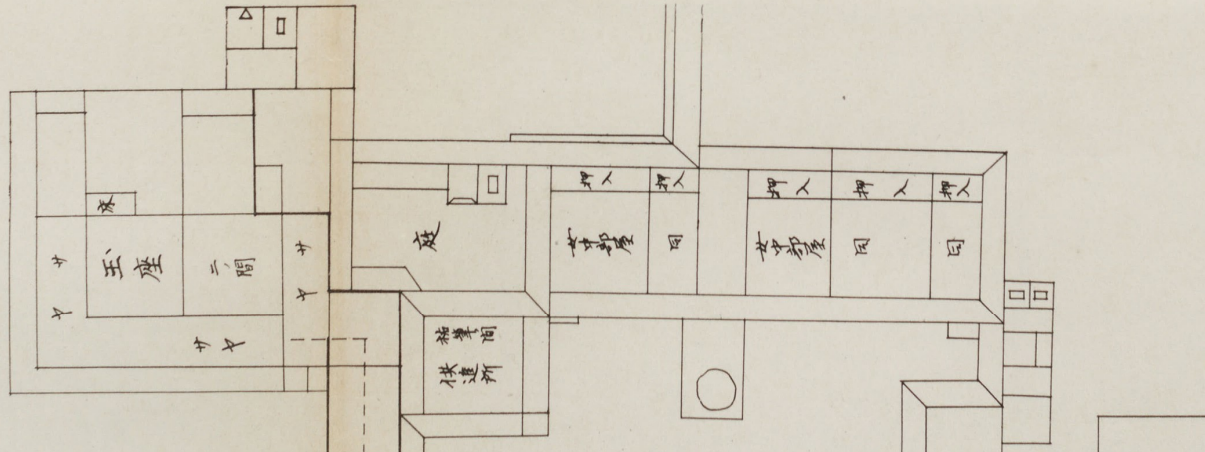


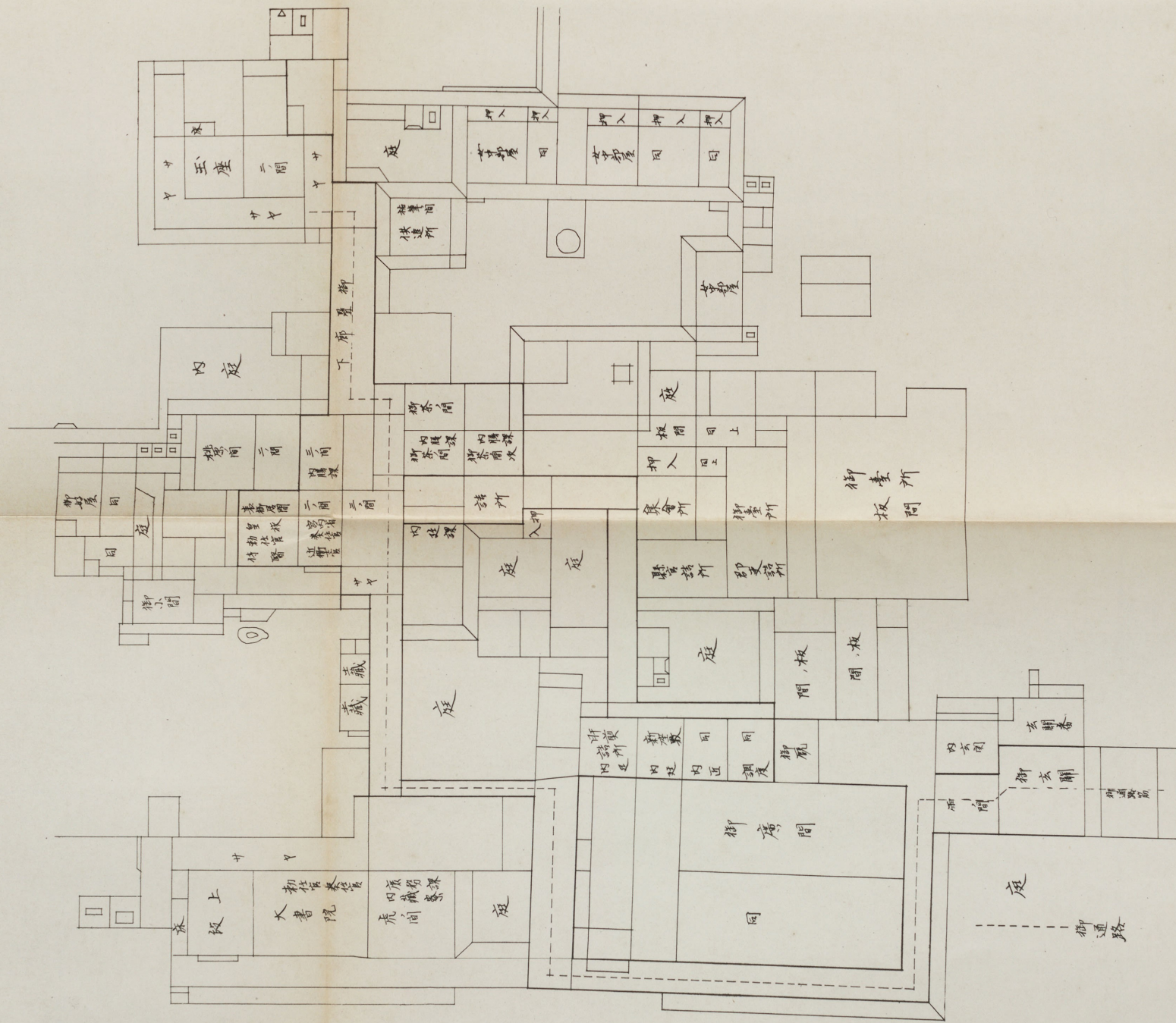
(前以樂再)狀舊所座御所在行路姫皇天治明



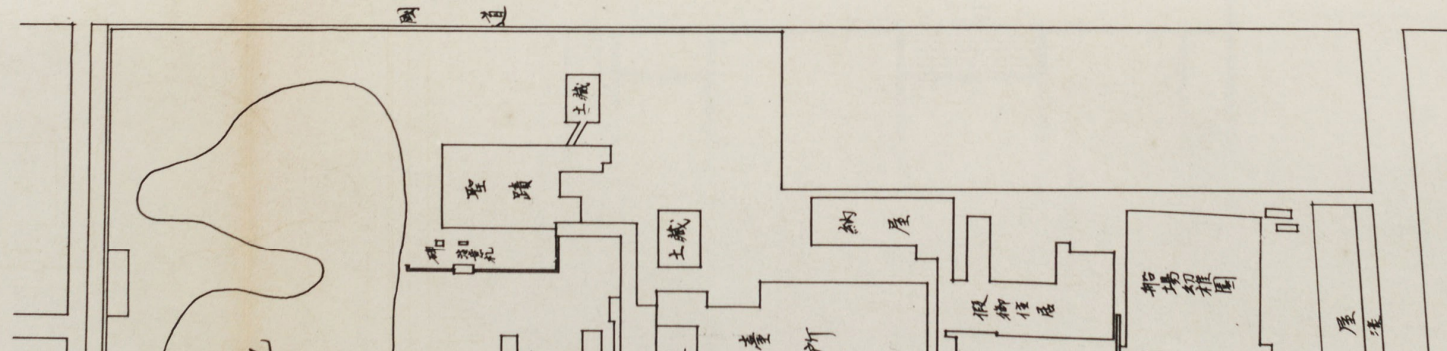
品賜下御及札建所在行路姫皇天治明

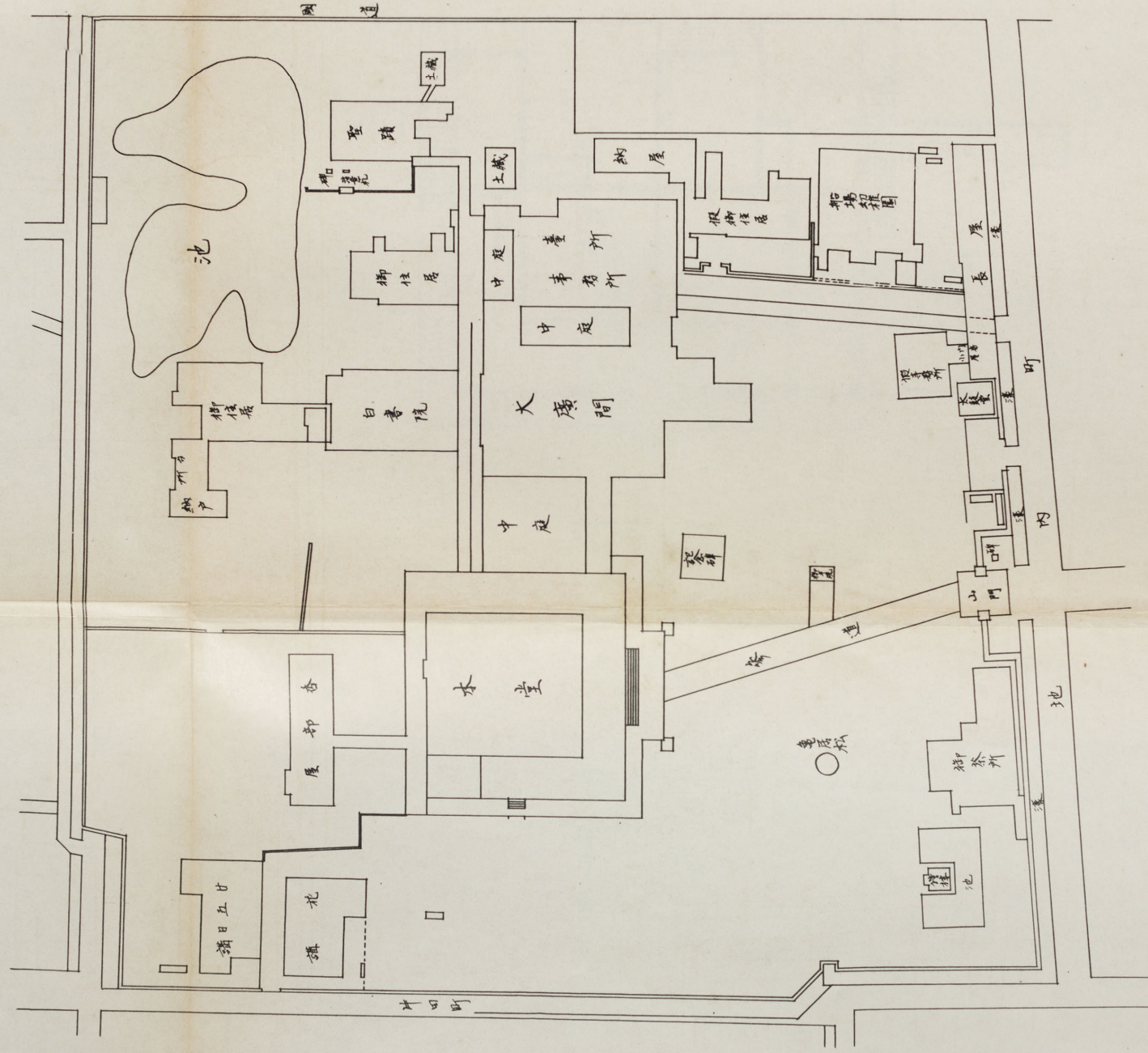
明治天皇姫路行在所(本徳寺書院)御部屋割圖 (兵庫縣記録)



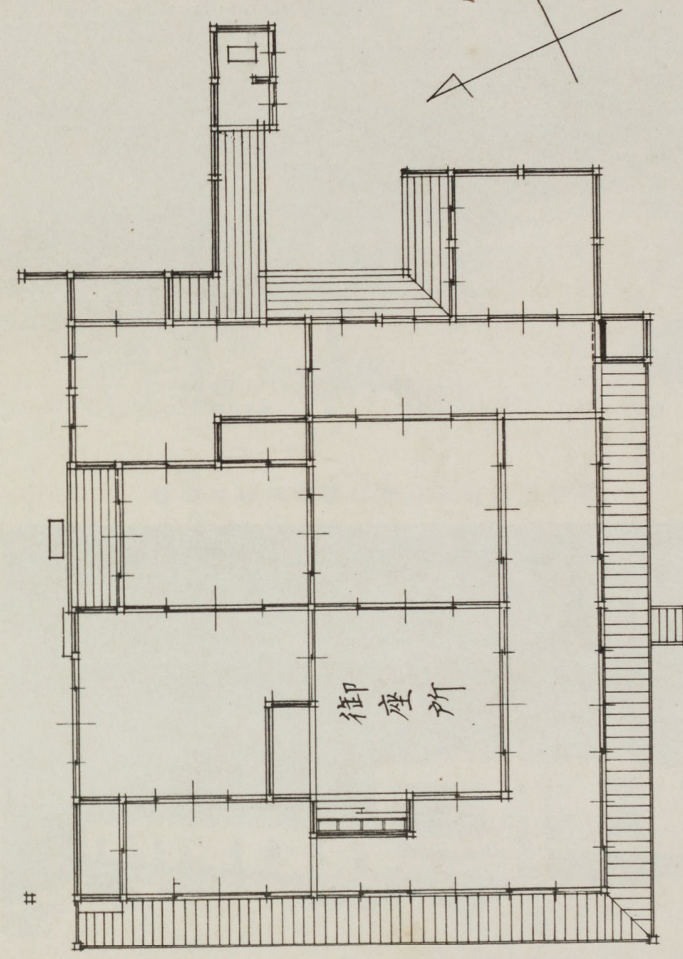


明治天皇姫路行在所本徳寺現状平面圖





明治天皇姫路行在所御座所本徳寺書院現狀平面圖



0 5 10 20尺



明治天皇皇后御所行社行在現狀全景



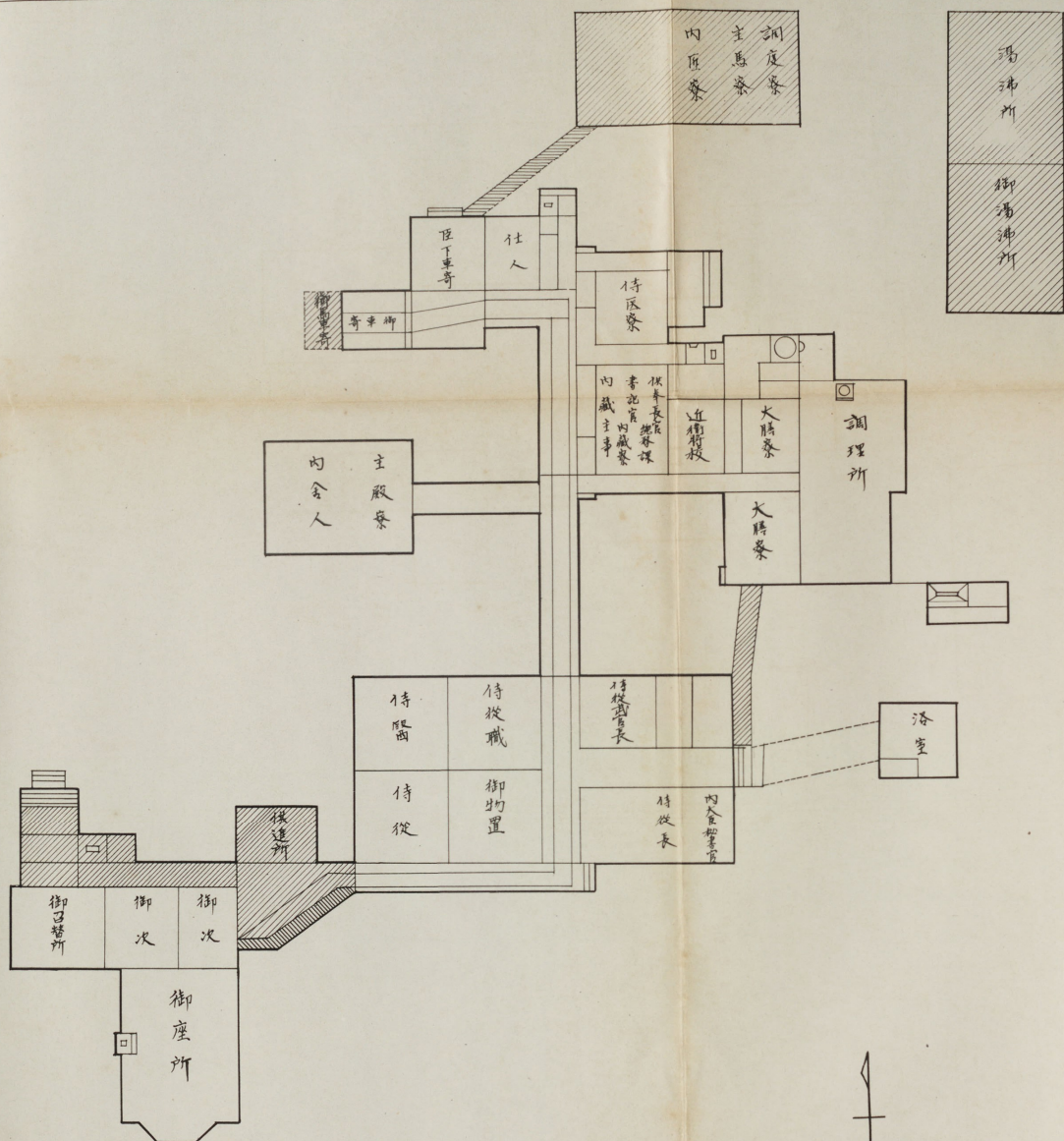
同上 (御座所背面)



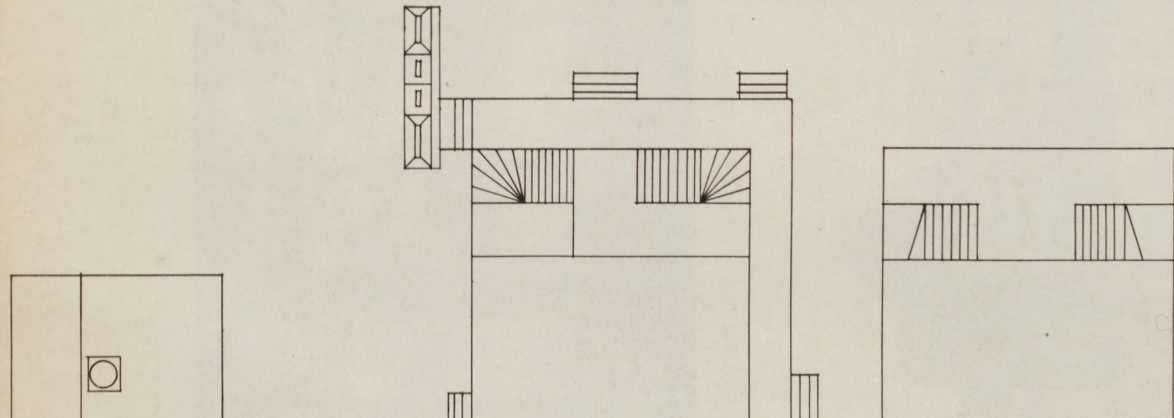
(上) 明治天皇姬路偕行社行在所御座所
(下) 同 右 御次間

明治天皇姫路借行社行在所御部屋割圖（隨園司全部記錄）





明治天皇姫路偕行社行在所現狀平面圖



明治天皇姫路偕行社行在所現狀平面圖

